

教育文化功労



佐々木 隆さん

(大迫町大迫・86歳)

大賞神楽の伝承と技の向上に尽力

大 優神楽の伝承者として昭和34年に、県無形文化財保持者に認定。同45年には、山伏神楽保存会(現早池峰神楽保存会)の設立に尽力しました。

平成7年には私有地を開放し「神楽の館」の設置に貢献しました。

同8年から7年間、大賞神楽保存会の会長を務めました。同17年4月に、花巻地方の神楽保存団体で組織する花巻地方神楽協会の会長に就任。主催事業である、みちのく神楽大会を毎年開催し、構成神楽団体の技の向上に尽力しました。

後継者育成に熱心に取り組み、子どもたちへの指導を先頭に立って行っているほか、自らも神楽の舞い手として現在も活躍しています。

平成29年度

市勢功労者表彰

平成29年度の市勢功労者表彰式を11月3日、花巻温泉ホテル紅葉館で開催しました。

市勢の発展に大きく貢献したことにより四つの部門で表彰された5人の皆さんは次のとおりです。

【問い合わせ】本庁総務課(☎24-2111内線219)



産業功労



高橋 専太郎さん

(栃内・74歳)

農業の発展と、組合員の生活向上を図る

農 農業振興と農協経営の健全化のために努力を重ね、昭和41年笹間農業協同組合に入組以来、平成29年5月まで農業・農協の発展のため尽力しました。

同元年に合併した花巻市農業協同組合においては、経営改革を断行し、固定比率の改善や人材育成に尽力しました。また同20年5月に広域合併した花巻農業協同組合においては、農業振興のため特産物の拡大生産に努め、農家所得の向上に寄与しました。

東日本大震災の際は「白米一升運動」を展開。被災地に白米など多くの支援物資を提供し、復興支援に尽力しました。

農業の発展と4万2千人の組合員の生活向上を図り、さまざまな農協事業を通じて地域に貢献しました。

地方自治功労



新田 盛夫さん

(東和町前田・80歳)

新市発足後、副議長として議会の円滑化に尽力

東 和町議会議員として平成7年5月に当選以来、連続6期19年3カ月にわたり市(町)議会議員を務めました。

同18年8月から同20年8月までの2年1カ月は、新市発足後2代目の副議長として合併後の議会の円滑な運営および議会体制の構築に努めました。

東和町議会議員在任中、教育民生常任委員会の正副委員長として活躍したほか、産業建設、総務、文教の各常任委員会に所属。町政の発展と議会運営の円滑化に努めました。

合併後は、岩手中部地区広域市町村圏事務組合議会議員や岩手中部広域行政組合議会議員も歴任。各種委員会委員として特定課題に取り組むなど、長年にわたり市勢の発展と地方自治の進展に寄与しました。

民生安定功労



小原 紀彰さん

(西大通り・74歳)

人工透析の先駆けとして患者の治療に貢献

小 原クリニックにおいて昭和53年12月より、花巻地方はもとより、遠野市、旧宮守村も含めた地域で初めて人工透析を開始。当該地方の人工透析医療の先駆けとして、また市内で唯一の夜間透析治療を行う医院として、患者の治療に多大な貢献をしています。

また同54年4月に市立桜台小学校の学校医に就任して以来、38年間にわたり地元小・中学校の学校医を務め、児童生徒の保健衛生に尽力しました。

平成11年7月からは11年間にわたり花巻市国民健康保険運営協議会委員を務めたほか、花巻市医師会副会長(同10年4月～同18年3月)、岩手県医師会副会長(同22年～現在)を歴任。地域医療体制の充実に貢献しました。

地方自治功労



奥山 隆さん

(吹張町・73歳)

投票環境の向上や選挙への意識啓発を促進

平 成11年4月から継続して花巻市選挙管理委員会委員を務め、同17年3月からは同委員会委員長に就任。合併後も同委員長を務め、現在に至ります。

同28年度に執行された第24回参議院議員通常選挙では、期日前投票所を従来のまなび学園から、ぷらっと花巻(イトヨーカドー花巻店内)に移転。有権者の投票環境の向上に貢献しました。また市内の大学に期日前投票所を開設。選挙管理事務に学生が中心となって從事し、選挙に対する理解や意識啓発が促進されました。

長年にわたり選挙管理委員会委員として公正な識見の下、適正な選挙事務の管理執行に尽力。民主政治の基盤確立に寄与しました。